

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	海上タクシーから浮き桟橋に傷病者（担架）を移動する際に、海上タクシーが浮き桟橋から離れたために、傷病者と関係者を海中に転落しそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	浮き桟橋が揺れる程度の波立ちがあり、担架を桟橋まで移動するのに支障があると判断した救急隊長が関係者に担架移動の協力要請をした。関係者は海上タクシーと桟橋を跨った状態で担架を保持していたが、海上タクシーが桟橋から離れバランスを崩し、担架を保持しきれずに担架にしがみ付いたが、傷病者ともに海中に落ちそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	浮き桟橋が揺れる程度の波立ちがあり、係留綱の緩みで海上タクシーが桟橋から離れたこと。関係者が海上タクシーと桟橋を跨った状態で担架を保持したこと。関係者・隊員に安全管理指導を怠ったこと。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 20 年 3 月 23 日 午前 10 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：海上の浮き桟橋
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動終了時 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[30]歳、 勤続年数[12]年、 現場経験年数[12] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[54]歳、 勤続年数[30]年、 現場経験年数[30]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[56]歳、 勤続年数[32]年、 現場経験年数[32]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	B	船内で関係者に協力要請した。	
経過 2	B	頭部側の担架を保持(右側)	
経過 3	C	頭部側の担架を保持(左側)	
経過 4	A	足側の担架を保持	
経過 5	A 、 B 、 C	船の後甲板へ担架を移動	
経過 6	A	栈橋側へ移動	
経過 7	関係者	船から栈橋側へ移動し、A の右側で担架を保持	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：海上タクシーと浮き桟橋で共に揺れている環境

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

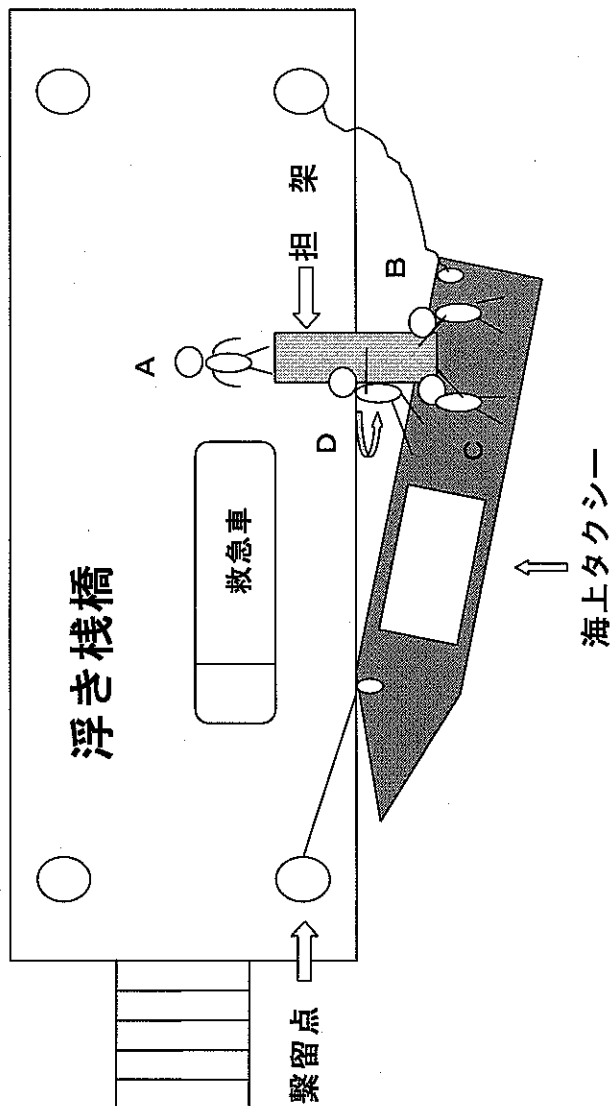
○指揮・情報伝達の対策について

概略図

- A→救急隊員
- B→救急隊員
- C→救急隊員
- D→関係者

※関係者Dが転落危険有り

海



岸